

ネットワーク仙台 No.70

会員団体の活動についてご紹介します！

宮城野区文化振興会

宮城野区文化振興会とは

心豊かな生活環境が創造されることを願い設立。昭和63年仙台市宮城野区新田が発祥。その後、原町、東仙台、高砂、燕沢、銀杏町へと広がり、平成7年に連合組織「宮城野区文化振興会」が設立されました。主に年1回の「みやぎの文化祭」の開催のほか、各団体の支援などを行っています。

● MISSION : 豊かな生活環境をつくる

地域に根付いた文化や新しく生まれてくる文化、様々な文化を大切にし、その思いを継承していくことが平和の象徴になると考え、地域にとって豊かな生活環境を作るために活動をしています。

● EVENT: みやぎの文化祭

毎年「みやぎの文化祭」を開催しており、18 回目となる今年度は令和5年10月29日(日)に宮城野区文化センター(パトナホール)を会場にして開催しました。当日は、各団体によるステージ発表や作品の展示が行われ、主に宮城野区で活躍をされている各団体が、タップダンスやフラダンス、日本舞踊、吹奏楽の演奏などを披露しました。



「第18回みやぎの文化祭」
プログラム



展示を見学する参加者



ステージ発表のようす

また、更なる地域の活性化推進策として、ステージ発表の中で「おらほが発祥」コーナーを設け、その地域独自の芸能を発表しています。例えば、新田地域の「鶴翔太鼓」や幸町地域の「復興太鼓」、宮城野の「宮城野盆唄」、燕沢「燕沢音頭」、岡田「コーラスおか～だ」など、宮城野区の各地域が発祥となった芸能の文化を発表しています。

● VISSION :おらほが発祥の拡大

「おらほが発祥」として自分たちの地域の文化を継承していく場の提供を、宮城野区だけにとどまらず、仙台市全域に広めて地域の活性化を促したいと考えています。それを実現するためには、資金の確保や高齢化傾向にあるスタッフの若返りなどの課題を解決が必要です。

古くから伝わる文化と新しく作り出す文化、どちらも大切な地域住民の心のよりどころとなるものと思っています。これからも、それを発表できる場を提供し続けていきたいと考えています。

県協議会主催の研修会に参加しました！

みやぎ地域づくり団体協議会研修会 レポート

令和5年11月17日(金)、18日(土)の2日間、県協議会主催の「みやぎ地域づくり団体協議会研修会～みやぎの自然を100年後の未来へつなぐために～」が気仙沼・本吉地区で開催されました。

研修会1日目は、南三陸町内にある一般社団法人 南三陸 YES 工場の第2工場を会場としてプログラムが実施されました。YES 工場は、南三陸のタコをモチーフとした縁起物キャラクター「オクトパス君」グッズの製作や間伐材を活用したノベルティの製作、地域資源を活用したモノづくり体験(ワークショップ)の提供などを行っている団体です。



YES 工場 第2工場

第2工場は廃校になった中学校の体育館が活用されており、大人数でのワークショップも可能とのことでした。

はじめに、第39回地域づくり団体全国交流会島根大会に参加された栗原市の六日町合同会社の杉浦氏より、全国交流会の参加報告がありました。杉浦氏は隠岐諸島にある海士町(あまちょう)で開催された分科会に参加されました。杉浦氏からは、島の案内や行政職員からの説明を受け、海士町の歴史や取組、それにより杉浦氏が感じたことなどについて話がありました。



YES 工場 本社・第1工場

続いて、YES 工場の代表を務める大森氏からの講話がありました。講話では、YES 工場の活動や地域とのつながり、今後の展望などについて話があり、南三陸町のために「継続した雇用と交流、環境面の整備」と「若い世代の雇用」という2つの目標を掲げて、様々な取組をされていることを知ることができました。

また、講話終了後にはワークショップ(スプーン・フォークづくり体験)が開かれ、研修会の参加者は、

大森氏や YES 工房スタッフの方々の助けを借りながら、スプーンとフォークづくり体験を楽しみました。



スプーン・フォークづくり体験のようす



製作したスプーン

2日目は県気仙沼合同庁舎を会場にプログラムが実施されました。

はじめにamu株式会社(気仙沼市)の芦原氏による講演がありました。

amu 株式会社は、漁具の素材として使われる素材の中で唯一リサイクル方法が確立されつつあるナイロンに目をつけ、漁具におけるサーキュラーエコノミーの実現に向けた事業を行っている会社です。廃漁具の回収・再資源化だけでなく、自社ブランド「amuca®」を立ち上げ、再資源化したナイロンの活用について取り組まれています。芦原氏からは、amu 株式会社が発足した背景や今後の目標や取組について語られるとともに、なぜ気仙沼で活動しているのか、気仙沼で活動することの魅力についてもお話がありました。



講演「漁具から、価値の常識をひっくり返す。」



講演後、「みやぎの自然を100年後の未来へつなぐために」をテーマにパネルディスカッションが行われました。パネラーとして、気仙沼大川桜並木を保存する会の橋本氏、特定非営利活動法人蔵王のブナと水を守る会の白内氏、そして仙台支部からは特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクトの東氏のご登壇されました。

各パネラーが所属する団体の活動紹介や会員の高齢化や若手世代の人材不足、資金の確保などの課題についてのディスカッションなどが行われ、最後には「100年後の未来へ願うこと」について各パネリストから想いが語られました。

パネルディスカッションのようす(左からファシリテーターの太齋氏、パネラーの白内氏、東氏、橋本氏)

特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト



わたりグリーンベルトプロジェクトとは

東日本大震災によって、大きな被害を受けた亘理町の海岸林の再生や維持・保全のために活動をされている団体です。「先祖代々受け継がれてきた、この町の原風景を取り戻したい」、「おらほ(私たち)の森を復活させたい！」そんな地域住民の想いを形にすべく活動されています。

●Mission 「みんなでこせっぺ！おらほの森」

亘理町の海岸林を再生させるため、「みんなでこせっぺ！おらほの森」を合言葉に、住民主体の森づくりに取り組んでいます。季節変化にとんだ生物多様性豊かな海岸林を作ること、持続可能かつ多様性に富んだ沿岸地域のにぎわいを取り戻すことを目標に活動しています。

●Activity 海岸林の保育・維持管理

植栽した木々の生長には適切な管理が必要不可欠です。海岸林再生のための保育・維持管理が、わたりグリーンベルトプロジェクトの重要な取組の1つとなっています。今まで植樹を行ってきた海岸林のマツが健全に生長するために、マツの生育を阻害する植物の駆除や下草刈り、枝打ちなどに取り組んでいます。

また、重要な課題の一つである残存林の管理についても取り組んでいます。何もせずに放って置けば、外来の植物などが繁茂して、海岸林本来の豊かな生態系は衰退していく一方です。



枝打ちをする育樹会参加者

●Activity 自然観察会

沿岸地域の自然には数え切れないほどの魅力や価値が詰まっています。再生途中の海岸林をはじめ、残存林や湿地、水路、砂浜といった多様な沿岸環境の魅力をとくさんの方々知ってもらい、その保全・活用を図るため、2021年度から沿岸域の自然を対象とした自然観察会を開催しています。参加者の方々からは、「亘理町の海岸にこんなに色々な生き物がいるとは知らなかった！」、「自然の力ってすごい！」、「もっととくさんの人に知ってもらいたい」といった声をいただいています。



自然観察会のようす

●Activity 小学校での総合学習

亘理・山元町内の小学校を対象に、出前授業や森づくり体験活動に取り組んでいます。

これまでは、4年生でクロマツの種をまき、5年生で鉢替え、6年生になったら、自分たちで育てた苗木を海岸林に植樹する、という流れを基本としてきました。しかし今後は、先輩たちが植えた木々の管理にも力を入れていかなければなりません。学年を跨ぎ、さらには世代をこえて受け継がれる森をテーマとした学習活動が、地元亘理への深い愛着や、自然環境への関心・理解に繋がればという考えのもと、活動に取り組んでいます。



出前授業のようす

事務局から

全国協議会助成事業の募集が開始されました

令和6年度の全国協議会助成事業の募集が始まりました。

- ▶地域づくり団体活動支援事業
- ▶地域づくり団体クラウドファンディング活用支援事業

※助成金を活用するためには、全国協議会への登録と、(一財)地域活性化センター賛助会員(年会費3,000円)への登録が必要となります。

※当助成事業は予算額に達し次第受付終了となります。

活用を検討される場合は、計画ができた段階で当事務局までお早めにお問い合わせください。

そのほかのお知らせ

1. 会員登録情報の変更について

住所、電話番号、メールアドレス、担当者の変更などがあった場合には、所定の様式で変更の手続きを行う必要がありますので、ご協力お願いいたします。

2. イベント情報の募集

仙台支部では、ネットワーク仙台の発行だけではなく、支部会員の皆様へ情報メールを送信しています。会員の皆様へお知らせしたいイベント情報がありましたら、ぜひ事務局までお寄せください！

編集後記

今回の情報誌を編集しました、仙台支部事務局の立花です。

今年度初めて事務局の担当となり、たくさんの至らない点もあったと思いますが、会員の皆様方とお話しさせていただいたり、研修会に参加したりする機会を通して、「地域づくり」に関わる方々の想いに触れ、多くのことを学ぶことができました。来年度以降もたくさんの方々との関わりを大事にして頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

また今回記事の掲載にご協力いただきました、宮城野区文化振興会様、特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト様、誠にありがとうございました。

【発行】

みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部事務局(宮城県仙台地方振興事務所地方振興部内)

〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号

TEL:022-275-9114 FAX:022-275-0296

E-mail:sdsinbk@pref.miyagi.lg.jp

支部HP:<https://www.pref.miyagi.jp/site/kouiki-sendai/tiikidukurisendai29-7.html>